

特集 この仕事知っていますか？

「青少年相談員の仕事」

- File. 6 -

このコーナーでは、青少年相談員の皆さんがどのような役割を担っていて、地域のためにどのような仕事をされているのかを紹介します。



▲11月3日に開催された役員会議の様子

青少年相談員とは

大人になるための準備期であり、人間形成にとって大切な時期を過ごす次世代を担う青少年が、個性や能力を伸ばし豊かな人間性を備え、1人の人間として成長するのを見守り支えている人たちのことをいいます。

芝山町では、千葉県知事と芝山町長から委嘱を受けた20歳以上55歳未満の有志の方々が「芝山町青少年相談員連絡協議会」という団体に所属しています。

※「青少年」とは、おおむね小学校就学時より18歳までの者のことをいいます。

青少年相談員の役割とは

青少年スポーツ活動の振興、ボランティア活動等の社会参加活動の推進、育成環境の整備などの幅広い青少年健全育成活動を通して、青少年が地域社会に参加する機会を設けることで、さまざまな人と触れ合える交流の場や学習の場などを提供することです。

主な活動内容

【夏季体験事業】

体験活動を通して青少年の自主性や社会性を育成することを目的に、例年6月頃に「潮干狩り体験」を実施しています。（町内在住ま

たは在学の小学生が対象）

【冬季体験事業】

互いを認め合い助け合う健全な精神と身体の育成を目指し「宿泊体験事業」を実施しています。一昨年は、スキー・スノーボード教室を実施しました。（町内在住または在学の中学生が対象）

【環境整備事業】

地域の環境整備などを目的に、国指定史跡である「殿塚・姫塚草刈り」を夏と秋の年2回実施しています。

【視察研修】

青少年にとってより有意義でよい経験ができる事業にしていくなために、事業の会場候補となる場所を視察しています。（昨年度は静岡県御殿場市にある国立中央青少年交流の家を視察）

【後援事業】

町民体育祭に参加する小・中学生との交流を深め、青少年のよき相談相手になるために「町民体育祭のスタッフ」として運営に協力しています。

※その他「成田エアポートツアー」デマーチのスタッフ」として運営に協力しています。

【山武地区連携事業】

山武郡内6市町が連携し、毎年「青少年のつどい山武地区大会」を開催しています。山武地区では例年ウォークラリーを実施して

りますが、今年度はコロナ禍の影響で中止となってしまったことから、現在密を避けた異なる事業を検討しているところです。

また、各地区の課題に応じてテーマを設定し、講演や実践形式で行われる「山武地区青少年相談員課題研修会」に参加し、相談員自身の資質を高めています。

直面している課題とは

現代社会の問題ともいえる地域をつなぐ希薄化により、青少年が保護者以外の大人と接する機会が減少している中で、青少年相談員が担う役割が大きくなっていることです。

また、今まさに直面している課題としては、コロナ禍においてどうすれば安全を最優先にした事業などが実施できるかを検討していくことです。現在、今年度事業の見直しを行いながら、小・中学生と交流できる新たな事業を検討しています。

ピックアップ①

芝山町青少年相談員連絡協議会は、現在20人（男性16人、女性4人）の委員がおり、町消防団の方や小・中学校のPTA役員に携わっている方が多くいます。
※任期は3年となります。

役員会の様子

10月24日に開催された芝山町青少年相談員連絡協議会の役員会。芝山町を会場として来年度開催される予定の山武地区青少年相談員連絡協議会事業「ウォークラリー大会」について、役員の方々と協議しました。

午前中に予定しているコースの下見を行い「通行不能箇所や整備が必要な箇所」「安全性」「トイレの位置」「チェックポイントの場所」などを確認し、午後はそれをもとに「改善点や懸念事項の洗い出し」「具体的な方策案や代替

案」などの意見を積極的に出し合いました。

青少年相談員の皆さんは終始、参加する子どもたちのことを第一に考えて、安全に楽しんでもらえてよりよい大会にするにはどうすべきかということの一つ一つ丁寧に話し合っていました。

また、現在はコロナ禍の影響で予定していた多くのイベントや行事が中止となってしまう、思うような活動ができていない状況ですが、そんな中でも地域の子どものためにできることは何か、ということに常に模索し考えている様子でした。



芝山町青少年相談員連絡協議会 大木 康弘 会長

◎平成28年から青少年相談員として活動され、現町青少年相談員連絡協議会の会長。地域の子どものために、日々どうすべきかを考えながら精力的に活動されています。

活動の中で心掛けていることはー

青少年を取り巻く問題は、いじめや児童虐待、有害情報の氾濫、スマートフォンの普及によるSNSやコミュニケーションアプリの利用拡大など、時代・社会環境の変化に伴い複雑化かつ多様化しています。

こうした環境の中、学校・家庭・地域社会が連携して青少年育成活動などに取り組むことが重要であると考えています。

そのために、青少年と真に一体となることで、共に喜び、共に語り、共に行動し、私たち青少年相談員が青少年のよき理解者・相談相手となれるように心掛けています。

芝山町の子どもたちに対する想いー

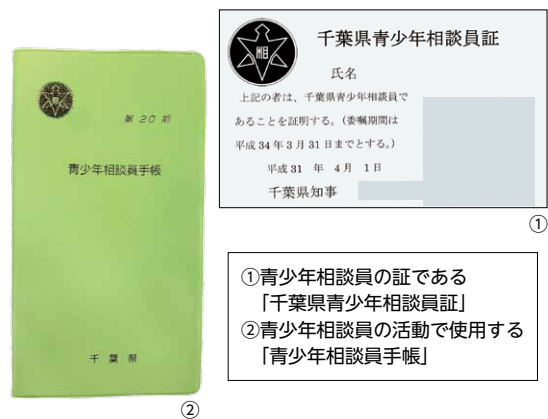
次世代を担う青少年が、夢と希望を持って心身ともに健やかにたくましく成長し、社会との関わりを自覚しながら自立した個人として自己を確立させ、明るい未来の健全なエネルギーになることを期待しています。

子どもたちへメッセージー

コロナ禍の影響で、学校のあらゆるイベントや行事が中止・縮小となっています。同じく私たちが主催するイベントなども安全面を最優先し、中止せざるを得ない状況となっています。

1日も早くコロナが終息し、新しい形でのイベントが開催され、青少年の皆さんのたくさんの笑顔にお会いできる日を心待ちにしています。

活動に関するアイテム



- ① 青少年相談員の証である「千葉県青少年相談員証」
- ② 青少年相談員の活動で使用する「青少年相談員手帳」

実施イベントの紹介

ピックアップ②

青少年相談員とは、全国でも千葉県・茨城県・埼玉県の3県にしかなく、千葉県の相談員数は4,166人と3県の中でも最大の規模となっています。
(令和2年現在)



▲11月3日に雨の中実施された「殿塚・姫塚草刈り」の様子

▼昨年度実施された「潮干狩り体験」の様子



▲一昨年度実施された「スキー・スノーボード教室」の様子